

2013年度

# 精神看護学実習

[表紙1]

【提出記録用紙】

- 1 実習評価表
- 2 日々の体験記録
- 3 事前学習レポート①
- 4 事前学習レポート②
- 5 課題レポートⅠ
- 6 課題レポートⅡ

学生証番号：                    K F

学生氏名                    :

実習期間                    :        月    日        ~        月    日

実習施設名                    :

担当教員名                    :

指導者名                    :

看護学科3年 専門教育科目

2013年度

# 精神看護学実習

[表紙2]

【提出記録用紙】

- 1 実習計画表
- 2 アセスメント用紙1
- 3 アセスメント用紙2
- 4 看護過程展開用紙
- 5 プロセスレコード
- 6 出欠席表

学生証番号：                    K F

学生氏名        :

実習期間        :        月        日        ~        月        日

実習施設名 :

担当教員名 :

指導者名        :

看護学科3年 専門教育科目

授業科目名：精神看護学実習  
 単位／時間：2単位／90時間  
 対象／開講：11KF／通年  
 担当教員：吉野 由美子、佐合 静子

## 実習要綱

### I 目的

精神の健康問題を抱える対象が、その人らしくその問題解決ができるように関わり、その過程の中で生じる対象の反応や自己の抱いた感情を整理しながら精神看護について学ぶ。

### II 目標・行動目標

1. 精神の健康問題を対象がどのように体験して、それがどのように日常生活に影響を及ぼしているかを理解しながら、必要な看護援助を実践し、対象の反応から自己の実践を評価する。
  - 1) 対象の発達課題・健康障害の種類・健康の段階・生活過程の特徴を理解し、記述することができる。
  - 2) 精神の健康問題が日常生活にどのように影響を及ぼしているかに気がつき記述することができる。
  - 3) 1) 2) をふまえて、より対象に必要な看護を考えて実践できる。
  - 4) 実践した看護への対象の反応から、自分が行った看護を評価できる。
2. 精神の健康問題を抱える対象に関心を寄せ、精神看護について理解する。
  - 1) 患者との関わりを通して、気がかりな場面をプロセスレコードで振り返ることができる。
  - 2) 自分が抱いた感情を、カンファレンスでありのまま表現し、意味ある体験として学びを共有することができる。(Supervision や Consultation の必要性)
3. 健康の段階を理解し、その段階に応じた看護・治療を理解する。
  - 1) 各種療法の目的を理解し、対象の反応を参加観察できる。
  - 2) 各職種の役割と専門性を尊重し、看護の関わりと関連性・相違性について考えられる。
4. 地域で生活する対象と関わり、精神保健福祉法及び自立支援法に基づくノーマライゼーションの重要性と他職種との連携の必要性を理解する。
  - 1) 生活支援サービスの活用について考えることができる。
  - 2) デイケアや就労継続支援施設を見学し、ノーマライゼーションの重要性と他職種との連携の必要性が認識できる。
5. 対象の人権を考慮した理想の精神看護を考察する。
  - 1) 精神の健康問題を抱える人の権利擁護について考えることができる。
  - 2) 精神保健・医療・福祉の現状を理解しつつ、理想の精神看護を考えることができる。

### III 実習施設・実習時間

1. 弘徳会 愛光病院 9:00 — 16:00(実習期間内で、NPO 法人若菜会 エアリアルの1日実習)
2. 正史会 大和病院 8:30 — 16:30(実習期間内で、精神科デイケアの1日実習)
3. 厚仁会 秦野厚生病院 8:30 — 16:30(実習期間内で、精神科デイケアの1日実習)

### IV 学習方法

1. 受け持ち患者との関わりを中心に学習する。
2. 自分の経験や感じたことを大切に毎日カンファレンスを行い共有学習する。
3. 鍵の取り扱い実習病院の手順に従う。
4. 記録物
 

1) 実習計画用	7) 実習評価表
2) アセスメント用紙1	8) 日々の体験記録
3) アセスメント用紙2	9) 事前学習レポートⅠ
4) 看護過程展開用紙	10) 事前学習レポートⅡ
5) プロセスレコード	11) 課題レポートⅠ
6) 出欠席表	12) 課題レポートⅡ
5. 実習評価  
 総合評価は、自己評価、他者評価、臨床実習指導者評価を踏まえ、担当教員が行う。

精神看護学実習 (大和病院・秦野厚生病院) 予定表

指導者名：

担当教員名：

KF 生 ( ) G

学生氏名：

	/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)	/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)	
	事前学習、自己の振り返り提出	看護計画立案に向けた情報収集	看護計画立案に向けた情報収集	看護計画立案に向けた情報収集	看護の方向性の確認	計画に基づき看護実践する	計画に基づき看護実践する	計画に基づき看護実践する	計画に基づき看護実践する	看護実践及び実習の評価	
8:30 9:00	全体オリエンテーション(約1時間)  挨拶  病棟オリエンテーション 受け持ち患者について説明を受ける	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り  中間面接 (アセスメント用紙1・2を基に看護の方向性を確認する) *中間面接は一人20~30分程度。面接以外の時間は病棟実習を行う。	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り  ①受け持ち患者との効果的な別れ ②グループ面接(自己評価・他者評価) ③記録の整理	左記、3つを2週目の木曜～金曜にかけて流動的に行う。
	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	
	患者との対話 情報収集  受け持ち患者決定 ←→				中間面接 (アセスメント用紙1・2を基に看護の方向性を確認する) *中間面接は一人20~30分程度。面接以外の時間は病棟実習を行う。					①受け持ち患者との効果的な別れ ②グループ面接(自己評価・他者評価) ③記録の整理	左記、3つを2週目の木曜～金曜にかけて流動的に行う。
15:00 ~ 16:00 ~16:30	カンファレンス 記録の整理	カンファレンス 記録の整理	カンファレンス 記録の整理	カンファレンス 記録の整理	カンファレンス 記録の整理	カンファレンス 記録の整理	カンファレンス 記録の整理	カンファレンス 記録の整理	カンファレンス 記録の整理	カンファレンス 記録の整理	
教員											

\*その他、プロセズノート の検討・ディテール実習 (1日)・他病棟 (隔離室回診) の見学等、実習施設毎に予定の異なるものについては、実習初日オリエンテーション時に確認し、各自が空欄に記入していく。

\*2週目木曜日から金曜日にかけてのスケジュールは流動的にグループ面接の時間が決まり次第、①・③は各自の行動計画に組み込み実施する。

\*プロセズノート 検討は実習期間中に各自1回は体験してもらうので、グループで話し合い日程を組むこと (一人当たりの検討時間は30分程度)。検討時には予め参加人数分プロセズノート をコピーしておくこと。

精神看護学実習 (愛光病院) 予定表

指導者名 :

担当教員名 :

KF 生 ( ) G

学生氏名 :

	/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)	/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)	
	事前学習、自己の振り返り提出	看護計画立案に向けた情報収集	看護計画立案に向けた情報収集	看護計画立案に向けた情報収集	看護の方向性の確認	計画に基づき看護実践する	計画に基づき看護実践する	計画に基づき看護実践する	計画に基づき看護実践する	看護実践及び実習の評価	
9:00 9:30	全体リエンテション(約1時間) 病棟リエンテション(各病棟) 病棟の機能・構造、特徴、実習上の注意、受け持ち患者について説明を受ける	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り <b>中間面接</b> (アセスメント用紙1・2を基に看護の方向性を確認する) *中間面接は一人20~30分程度。面接以外の時間は病棟実習を行う。	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り	申し送り ①受け持ち患者との <b>効果的な別れ</b> ② <b>グループ面接</b> (自己評価・他者評価) ③記録の整理	} 左記、3つを2週目の木曜~金曜にかけて流動的に行う。
	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	
	患者との対話 情報収集				<b>中間面接</b> (アセスメント用紙1・2を基に看護の方向性を確認する) *中間面接は一人20~30分程度。面接以外の時間は病棟実習を行う。					①受け持ち患者との <b>効果的な別れ</b> ② <b>グループ面接</b> (自己評価・他者評価) ③記録の整理	} 左記、3つを2週目の木曜~金曜にかけて流動的に行う。
15:00 ~ 16:00	受け持ち患者決定 ←→										
	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	記録の提出
教員											

\*その他、プロセズロードの検討、B型就労継続支援施設はエアリアルで見学実習(1日)、その他実習施設毎に予定の異なるものについては、実習初日リエンテション時に確認し、各自が空欄に記入していく。

\*2週目木曜日から金曜日にかけてのスケジュールは流動的に、グループ面接の時間が決まり次第、①・③は各自の行動計画に組み込み実施する。

\*プロセズロード検討は実習期間中に各自1回は体験してもらうので、グループで話し合い日程を組むこと(一人当たりの検討時間は30分程度)。検討時には予め参加人数分プロセズロードをコピーしておくこと。

実施日: 年 月 日 時間: ~ 場所: \_\_\_\_\_

目的

活動項目

計画内容:方法(動機づけ、必要物品を含める)・レイアウト・役割分担・タイムスケジュール・注意事項等

実施・結果

After meeting(患者を含め参加者同士で良かった点・工夫したい点・気づいた点などを話し合う)

精神看護学実習評価表

学生証番号 氏 名		実習場所: 実習期間:									
		自己評価			他者評価			教員評価			
		3	2	1	3	2	1	3	2	1	
直接的 経験	1. 精神看護について	①患者との関わり(生活・対人関係その他)									
		②治療に伴う看護の場									
	以下の場	③デイケア/B型就労継続支援									
	自分自身	④チーム医療									
	身を投じて	⑤家族や患者のサポートシステムとの関わり									
	体験する。	⑥精神障がい者の人権擁護について									
教材 化	2. 1. の場面を他者に表現する。	①カンファレンスの場で表現する。									
		②プロセスレコードを活用する。									
		③記録に整理する。									
反省的 経験	3. 体験を学びに導く支援の活用。	①文献と照らし合わせる。									
		②グループメンバーのアドバイスを受ける。									
		③教師・指導者・スタッフの助言を受取る。									
その他	4. 体験した場面を通して学んだことを他者に表現する(グループ面接・日々の体験記録・課題レポート等)。										
	5. 実習計画・各記録物・実習態度など										
	6. 事前学習										
<p>集計法: 項目1~4については、3:よい、2:ふつう、1:努力を要する。該当する欄に○をつける。          項目5, 6については、各項目10点満点とし、10点中の得点を書き込む。  <math>(1\sim4\text{の得点の合計}) \div 39 \times 0.8 \times 100 + (5, 6\text{の得点})</math>          * 他者評価は実習指導者が行う(項目4については課題レポートを除いて評価する)。</p>											
<p>集計:(自己評価: 点 + 他者評価: 点 + 教員評価: 点) ÷ 3 = 点, 総合評価:</p>											
出席		日	欠席		日	遅刻		時間	早退		時間
自己評価	サイン:										
他者助言											
教員助言											